

和田岬線、福塩線、芸備線、伯備線及び境線の旅

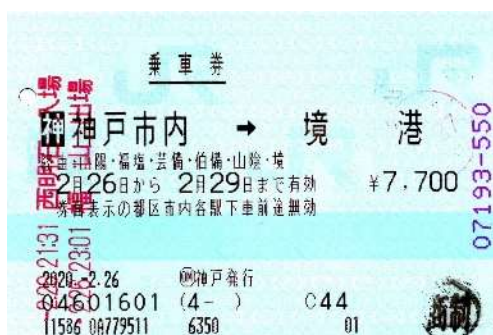
2020年2月26日(水)~27日(木)

【2020年2月26日(水)】

(1) 和田岬線

今回は神戸市内から福塩線、芸備線、伯備線及び境港線を乗車するための切符を購入しました。その前に乗った和田岬線は、山陽本線の支線で兵庫と和田岬間の通称です。この路線は和田岬エリアで働く人たちの通勤利用が中心のため、朝・夕と夜のみの運行で昼間や休日は電車が走っていません。

この日の朝、6時25分の飛行機で羽田空港を出発し、神戸空港には5分程遅れで7時45分に到着しました。神戸空港から三宮まではポートライナーに乗り、三宮に8時14分に到着しました。JR三ノ宮から8時19分発の快速に乗り、和田岬線が発車する兵庫には8時26分に到着しました。平日ダイヤでは兵庫発が8時46分の次は9時10分で、それを逃すと夕方17時16分まで電車がありません。8時46分発の電車に乗ると、少し遅い時間なので通勤客は少なく、1車両に10人位しか乗っていませんでした。途中には鉄道車両の工場もあり、引込み線の先には製造中の車両も見ることができました。たった4分で終点の和田岬に到着し、すぐ隣の神戸市営地下鉄の和田岬から地下鉄に乗って三宮方面に戻りました。



兵庫駅の和田岬行き電車



和田岬駅



和田岬駅

<2020年2月26日>

- 神戸空港
- | 7:55 発
- | 神戸新交通ポートライナー[三宮行]19分
- | 8:14 着
- 三宮
- 三ノ宮
- | 8:19 発
- | J R東海道本線(快速)[播州赤穂行]17分
- | 8:26 着
- 兵庫
- | 8:46 発
- | J R山陽本線(普通)[和田岬行]4分
- | 8:50 着
- 和田岬

和田岬線のダイヤ

兵	庫	8:46
和	田	岬

【2020 年 2 月 27 日(木)】

(2) 福塩線、芸備線（備後落合～備中神代）及び伯備線（新見～伯耆大山）

今朝は福山駅前のホテルを朝早く出発し、最初に福塩線に乗車しました。福塩線はその名前のとおり、広島県福山市の福山から広島県三次市の塩町を結ぶ延長 78.0 km の路線で、福山から府中駅間は電化されていますが、残りの府中から塩町間は非電化区間で駅は全部で 27 駅あります。



福山駅前の福山城

福山の福塩線のホームは福山城側にあり、ホームからは福山城が正面に見えます。福山 6 時 52 分発の電車は、通学の高校生たちを大勢乗せて賑やかに出発しました。福山を出ると、電車は住宅街を抜け、井原鉄道との接続駅の神辺を過ぎて府中には 7 時 35 分に到着しました。府中から先は非電化区間のため、府中発

8 時 11 分の三次行き列車はディーゼルカー 1 両だけでした。福塩線の終点は塩町ですが、全ての列車が塩町から芸備線に乗り入れて中国山地中央部の大きな市である三次まで運行しています。列車は塩町に到着し、これで福塩線は全区間乗車しました。その後、列車は芸備線の線路に入り、終点の三次には 9 時 58 分に到着しました。三次の改札で塩町から三次までの乗り越し料金の 210 円を支払いました。

<2020 年 2 月 27 日>

○福山
| 06:52 発
| J R 福塩線(普通)[府中行き]43 分
| 07:35 着
○府中
| 08:11 発
| J R 福塩線(普通)[三次行き]1 時間 34 分
○塩町
| J R 福塩線(普通)[三次行き]13 分
| 09:58 着
○三次
| 13:01 発
| J R 芸備線(普通)[備後落合行き]1 時間 10 分
| 14:21 着
○備後落合
| 14:37 発
| J R 芸備線(普通)[新見行き]1 時間 14 分
○備中神代
| J R 伯備線(普通)[新見行き]9 分
| 16:00 着
○新見
| 16:10 発
| (特急)やくも 17 号 1 時間 11 分
| 17:21 着
○米子
| 18:04 発
| J R 境線(普通)[境港行き]46 分
| 18:50 着
○境港
| 19:05 発
| J R 境線(普通)[米子行き]19 分
| 19:24 着
○米子空港



福山駅の府中行き電車



府中駅の三次行き車両

芸備線は、岡山県新見市の備中神代から広島県三次市の三次を経て広島市の広島までの159.1kmの長い路線で、駅の数44駅もあります。このうち、備後落合から広島までは学生時代に乗車しているの、乗車していないのは備後落合から備中神代までの区間です。

三次では、芸備線の列車が来るまで3時間以上待たなければなりません、これと言った施設も見当たりませんでした。日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）」が最近できたようですが、あまり興味が無かったので行きませんでした。観光案内によると、市内に石畳と古い町並みが残るエリアがあったので、そこまで歩いて散歩してみました。

また、2018年3月31日に廃止になった島根県の江津と三次を結んでいた三江線の尾関山駅跡があったので、その駅まで歩いて行ってみました。線路も駅舎もそのまま残っており、作業していた方に何うと保存することも検討しているそうです。市内を散歩して三次駅近くのショッピングセンターに戻り、昼を食べて駅に戻ると列車の時間が近くなっていました。



三江線の尾関山駅跡



三江線の尾関山駅のホーム跡

福塩線のダイヤ

福塩線	福山	6:52	
	備後本庄	6:55	
	横尾	7:01	
	神辺	7:05	
	湯田村	7:08	
	道上	7:10	
	万能倉	7:14	
	駅家	7:16	
	近田	7:19	
	戸手	7:22	
	上戸手	7:25	
	新市	7:28	
	高木	7:31	
	鶴飼	7:34	
	府中	7:35	8:11
	下川辺		8:18
	中畑		8:27
	河佐		8:34
	備後三川		8:43
	備後矢野		8:51
芸備線	上下		8:57
	甲奴		9:04
	梶田		9:09
	備後安田		9:20
	吉舎		9:28
	三良坂		9:38
	塩町		9:45
	神杉		9:49
	八次		9:55
	三次		9:58



三次からの芸備線の備後落合行きは13時01分発です。福山からの福塩線の列車で通った塩町までの区間を今度は芸備線の列車で通りますが、この区間は学生時代に乗車済みの区間です。列車は川沿いの景色の良い山の中を走り続け、14時21分に備後落合に到着しました。備後落合には駅員さんらしき人の姿が見えました。



三次駅の備後落合行き列車

乗り換え時間に備後落合駅で会ったその方は、駅の説明ボランティアをされている国鉄OBで新聞等でも紹介されている人でした。中国山地の主要駅として、かつては大きな施設があったそうで、そのジオラマも見せて貰いました。ゆっくり話を聞く時間もなく、14時37分発で新見に向かいましたが、車内に乗客は殆ど居ません。



芸備線のダイヤ

芸備線	三 次	13:01	
	八 次	13:05	
	神 杉	13:11	
	塩 町	13:14	
	下 和 知	13:18	
	山 ノ 内	13:23	
	七 塚	13:28	
	備後三日市	13:30	
	備 後 庄 原	13:37	
	高	13:48	
	平 子	13:54	
	備 後 西 城	14:02	
	比 婆 山	14:06	
	備 後 落 合	14:21	14:37
	道 後 山		14:51
	小 奴 可		14:58
	内 名		15:06
	備 後 八 幡		15:14
	東 城		15:25
伯備線	野 馳		15:32
	矢 神		15:37
	市 岡		15:41
	坂 根		15:45
	備 中 神 代		15:51
	布 原		15:55
	新 見		16:00

ここから備中神代までは初めて乗車する区間で、先ほど説明してくれた方の話では、急勾配の区間があってSL時代には難儀した路線だったそうです。川沿い、山沿いを走るカーブの多い路線で、速度はあまり出せそうもありません。山あいの線路を走り続け、備中神代まで乗車した時点で芸備線は全線乗車となりました。ここからは伯備線の線路を走って新見を目指しますが、途中の布原には芸備線車両は停車するのですが、伯備線の列車は通過してしまう不思議な駅でした。この後、新見から乗った特急の車掌さんに聞いてみたのですが、その理由はわかりませんでした。備中神代を出て、列車は16時00分に新見に到着しました。

伯備線のダイヤ

新 見	16:10
備 中 神 代	↓
足 立	↓
新 郷	↓
上 石 見	↓
生 山	16:42
上 菅	↓
黒 坂	↓
根 雨	↓
武 庫	↓
江 尾	↓
伯 耆 溝 口	↓
岸 本	↓
伯 耆 大 山	17:17
東 山 公 園	↓
米 子	17:21

新見からの伯備線は初めて乗車する区間です。伯備線は岡山県倉敷市の倉敷から新見を経て、鳥取県米子市の伯耆大山を結ぶ138.4kmの路線で28駅あります。そのうち、新見から倉敷までは乗車しているのですが、今回乗車する区間は未乗車区間です。米子で境線への乗継ぎのため、新見を16時10分発の「特急やくも17号」に乗り、車窓に大山を見ながら伯耆大山に17時17分に到着した時点で伯備線は全線乗車です。





車窓から見た大山



米子駅の銀河鉄道 999 (?)

(3) 境線

新見からの「特急やくも 17 号」が 17 時 21 分に米子に到着した頃には少し暗くなってきましたが、今日の最後は境線です。境線は、鳥取県米子市の米子から境港市の境港までの延長 17.9 km の路線で 16 駅あります。境線は地元出身の漫画家である水木しげるの「ゲゲゲの鬼太郎」などの妖怪とコラボし、各駅には妖怪の名前が付けられています。本当の駅名より妖怪の名前の方が大きく書かれているので戸惑う人がいるかもしれません。列車にも水木しげるの妖怪が描かれています。途中には米子空港駅があり、米子空港へのアクセス駅にもなっています。米子空港駅は、米子空港の滑走路延長の際に境線の線形を変更したために駅の場所を移し、駅名も米子空港駅に変更して空港アクセス駅となりました。



米子駅の境港行き列車

米子を 18 時 04 分の境港行きに乗ったところ、帰宅時間とも重なり車内は学生や社会人で結構混んでいました。残念ながら、米子空港で下車する人はあまり居ませんでした。境港には 18 時 50 分に到着し、これで境線も全線乗車することができました。

その後、境港から 19 時 05 分の折返し列車で米子空港駅に 19 時 24 分に到着し、羽田行きの最終便に搭乗することができました。今日も長い旅でしたが、予定通りの列車に乗車することができました。

境港線のダイヤ

米子	18:04
博労町	18:07
富士見町	18:09
後藤	18:12
三本松口	18:15
河崎口	18:18
弓ヶ浜	18:22
和田浜	18:26
大篠津町	18:29
米子空港	18:33
中浜	18:37
高松町	18:40
余子	18:42
上道	18:45
馬場崎町	18:48
境港	18:50



一反木綿駅(上道駅)



終点の境港駅